

社会との関わり

1. 社会貢献活動

■ 地域交流

各事業所産業展への出展

各事業所では、地域で行われる産業祭・商工祭に参加し、地元の方々との交流を図っています。出展6回目となる2007年3月に行われた荒川産業展は、化学品、食品のパネル展示や地域とのかかわりの紹介を行うとともに、当社製品の冷凍ケーキや、ADEKAグループ会社・上原食品工業(株)のレトルトカレーの販売を行い、地域の方々との交流を深めるよい機会となりました。



荒川産業展

納涼祭・サマーフェスティバルの開催

各工場では毎年夏の恒例イベントとして、納涼祭・サマーフェスティバルを開催しています。

模擬店やゲーム大会など、毎年趣向をこらしたいろいろな催し物を行い、従業員同士や家族の親睦、地域の方々との交流を深めています。



納涼祭 富士工場

■ 社会福祉

(1) 障害者福祉施設にクリスマスケーキをプレゼント

鹿島工場と相馬工場では、12月のクリスマスシーズンに、地元福祉施設、障害者施設へクリスマスプレゼントとして当社製品の冷凍ケーキやスープを贈呈し、地域障害者および福祉関係者の方々との交流を図りました。

(2) ナイスハートフェスティバル(障害者の文化祭) 出展

2006年12月に障害者の福祉の向上と県民の障害者に対する理解と認識を深めることを目的とした「ナイスハートフェスティバル～障害者の文化祭～」が茨城県、茨城県障害者スポーツ・文化協会の主催で実施されました。当社は5回目の参加となり、昨年に引き続き、鹿島工場より障害者および関係者の方々に当社製冷凍ケーキ3,500個をプレゼントしました。地域社会との交流を深める有意義な機会であり、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えています。

(3) 出張餅つき大会を開催

2007年1月、富士工場が地域ボランティア活動の一環と

して、知的障害者支援施設に出向き、餅つき大会を行いました。つきたてのお餅と豚汁は大変好評で、施設の方々との交流を深めるよい機会となりました。



ナイスハートフェスティバル



■ スポーツ振興と青少年の健全育成

荒川区内警察署少年・少女柔道・剣道大会

ADEKAと地元警察(尾久、荒川、南千住)の協賛で、毎年11月に、警察署の道場に通う少年少女を対象にした武道大会を開催しています。武道大会を通じて、荒川区の少年少女の健全育成と非行防止に貢献することを目的に、2000年にスタートし、回を重ねるごとに地域との交流を深めています。

第7回大会では、試合に先立ち、柔道はアテネオリンピック金メダリストである阿武教子氏と兄である阿武貴宏氏によ

る基本指導、剣道は全日本剣道選手権優勝者である原田悟氏と内村良一氏による模範演武が行われました。大会は白熱した試合展開により大変な盛り上がりを見せ、割れんばかりの父兄の声援と、それに応えて活発に動き回る少年少女の熱気に溢れていました。

今後も選手の皆さんが日頃の練習成果を発揮できるように、さらなる充実を図っていきたいと考えています。



ADEKA杯(柔道)



ADEKA杯(剣道)

2.NPO・NGOとの関わり

国際理解と多面的交流を深めるために、1984年に設立された非営利の国際交流機関である「民間外交推進協会(旧称:エフイーシー国際親善協会)*1」の副会長を当社名誉会長の岩下が務めています。

■ 加盟している主な業界団体

- 日本経済団体連合会
- 日本石鹼洗剤工業会(※)
- 日本マーガリン工業会(※)
- 日本ソーダ工業会
- 日本化学工業協会

*1 民間外交推進協会(旧称:エフイーシー国際親善協会):

国際理解と親善を深めるために25年前に設立された非営利民間団体。民間の活力をベースに官界、外国代表などの参画を得ながら対外交渉を推進しており、民意を政府外交に反映し、外交の普及などの政府外交活動に対する国民の理解増進を通じて外交支援を実施しています。

※2007年5月、当社会長の中嶋が石鹼洗剤工業会会長に、社長の櫻井が日本マーガリン工業会会長に就任しました。工業会として取り組む課題は数多くありますが、会員の皆様とともに更なる工業会の発展に向けて努力してまいります。